

のマニユアルはあるか。あるとすれば、どのように徹底しているのか。

福井町長

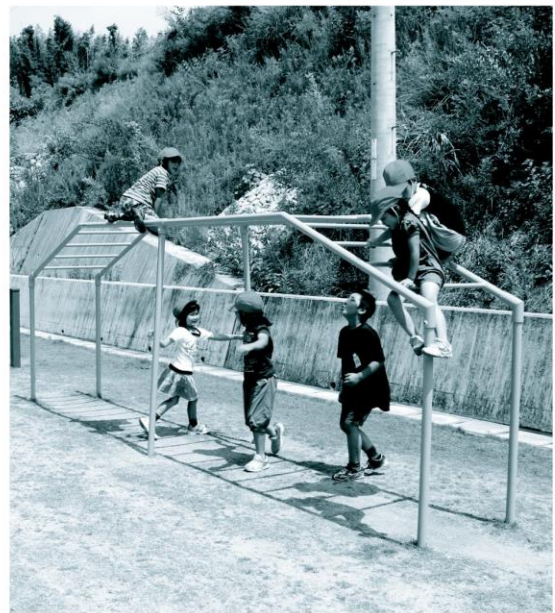
窓口対応と電話対応は、その組織の顔であり、一般企業であれば、その企業の実績が分かるとも言われています。

これまでの接客方法は、徳島県が実施している新規職員研修と、その時のテキストに基づき各人の努力義務として実践していますが、今後、接客マニユアルの作成については、検討したいと考えています。

子どもたちに、もっと遊具を

藤元議員

幼少期の子どもたちにとって、心も体も健やかに成長するうえで遊びは大切です。遊びの中で体力や運動能力を身につけるといふことだけでなく、人として大事な人間関係を学んでい



遊具で遊ぶ小学生

きます。現在、小学校には鉄棒、ジャングルジム、うんていの遊具が設置されていますが、スペース的には少々余裕もあり、ブランコ、滑り台などの遊具を増やすべきではないか。

峯野教育長

子どもは遊びを通じて冒険や挑戦をし、身体的な面だけではなく、心の成長や社会面においても成長するものであって、教育的にも大きな意味があると言え

ます。

小学校では、外遊びを積極的に進めておりますが、遊具を増やすことで、外遊びの広がりや多様な遊びの機会を提供でき、子どもたちの遊びがいつそう促進されることを期待できます。

また、小学校の運動場な

どの施設は、地域の方々や子どもたちの憩いの場、遊びの場としての機能が有ると考えていますので、今後学校施設が果せる役割を探りながら小学校施設の活用や遊具などの施設、設備の

方針を考えてまいります。

健診受診率の引き上げを

藤元議員

歳をとれば、人間も機械と同じで部品を交換したり修理をしなければなりません。大事なことは、病気が重症化しないうちに早く見つけ、早く治療することです。そのためにも定期的な健康診断が決定的に重要です。

健康診断で、自分の体のことを客観的に知ることができ、有効な手当てが可能になります。そしてそのことが、医療費を抑えることにつながり国保の運営にも良い影響を与えます。

町長は「保養と健康の町づくり」に取り組みたいと

決意を述べました。健診受診率は、町民の皆さんの健康と、健康に対する関心度を計るバロメータでもあります。今後どのような引き上げ対策を考えているのか。

福井町長

健診の実施は、町民の皆様が充実した人生を送るためにも、国保財政の安定運営のためにも極めて重要な課題だと考えています。牟岐町活性化のためにも、「保養と健康」を牟岐町の

皆様の大きな目標、課題として取り組んでいただきたいと考えており、適度な運動と健康食を皆で考え、お互い競い合っていただけでしょう、今後、主要施策として取り組みます。

百々健康生活課長

受診率は、特定健康診査がスタートした平成20年度46・4%から年々低下し、直近では、36%台で推移しております。

対策として、各種通知や防災無線による受診勧奨、クーポン券の発行、戸別訪問による受診者獲得などがあります。今後、周知が効果的、効率的なものになるよう工夫したり、新たな対策を検討します。